

啓発映画 新作コーナー

新規DVD

※ 貸し出しについての問合せは、姫路市教育委員会 人権教育課 (Tel.221-2776) までお願いします。

なお、予約の際には管理番号を明示していただくと、貸し出し状況等の検索が迅速にできます。ご協力ください。

※ 映画の貸し出しは、基本的に姫路市在住の方、姫路市内にある学校・園・所、企業・事業所、自治会等の団体に限ります。また、映画の利用は、研修や講座、地域での映画会等、非営利的な上映に限ります。

管理番号	題名・企画	時間	内容
S-814	破戒 【東映】	119分	<p>全国劇場公開作品 島崎藤村、不朽の名作「破戒」を間宮祥太郎主演で60年ぶりに映画化。100年以上も前の原作を現代に蘇らせるべく描き切り一流のエンターテインメントへと昇華させています。 主人公・丑松の誠実さと”祈り”が多くの人々の感動と共感呼び込んでいます。</p> <p>【2022年作品】</p>
S-815 S-821	大切なひと 【兵庫県】	34分	<p>インターネットは利便性が高く自由に意見表明できる反面、他者からの評価が自身の評価であると誤認し、部落差別・外国人差別等への偏見や差別を助長するような情報を発信する行為が見られます。 本作品では、インターネット上での情報発信が表現の自由を逸脱した許されない行為になりかねないことを気づかせ、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして制作されています。</p> <p>【2023年作品】</p>
S-822 K-106	言葉があるから... ～無自覚の差別「マイクロアグレッション」～ 【東映】	31分	<p>あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言葉のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。 その言葉の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人達への軽視や偏見が隠れていることがあります。自覚なく加害者にならないために…。属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを描いた作品です。</p> <p>【2023年作品】</p>
S-823	いじめ ～それぞれの想い それぞれの言い分～ 【東映】	23分	<p>近年、正義感ゆえの言動がいじめに発展してしまう事例が増えています。本作品は、相手の事情を想像し理解する大切さを提起しています。 文化祭で4人の生徒がダンスをすることになったが、ふとしたきっかけから一人がグループから浮いてしまいます。 どちらの言い分にも共感できる主人公は悩みながらひとつのアクションを起こします…。</p> <p>【2023年作品】</p>

管理番号	題名・企画	時間	内容	
S-824	<p><b>ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見</b></p> <p>職場のコミュニケーション向上のヒント</p> <p>【東映】</p>	24分	<p>「アンコンシャスバイアス」とは無意識の偏見・思い込みのことで、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントに繋がってしまうこともあります。</p> <p>しかし、アンコンシャスバイアスは誰もが持っている、完全になくせるものでもありません。大切なことは「自分にもアンコンシャスバイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。</p> <p>【2023年作品】</p>	
S-825	<p>みんなの情報モラルⅦ</p> <p><b>メッセージに仕組まれた罠</b></p> <p>【東映】</p>	21分	<p>アニメーションは、「ドラマ」と「まとめ」で構成されています。ネットを通じた罠と被害にあわないためのポイントを分かりやすく解説しています。</p> <p>①SMS詐欺、②ニセのSNSキャンペーン、③SNSの裏アカウントの3部構成になっており、詐欺の手口やSNSでの行き過ぎた行為などが描かれています。</p> <p>小学校高学年以上向き 【2023年作品】</p>	
S-826	<p><b>ええことするのは、ええもんや!</b></p> <p>ボランティアって誰のためにするものなんやろ?</p> <p>【東映】</p>	14分	<p>学校からの帰り道。マナブは車椅子に乗って動けなくなっているおっちゃんを押してあげることになり、道行く人に褒められ得意げになります。でも、誰にも会わなくなってからは、「何でこんなことしてるんやろ?」という気持ちが沸き上がり……。</p> <p>「相手を思いやる心とは?」「ボランティアって誰のためにするの?」「友情って何だろう?」そのようなことを子供たちが考え話し合うための道徳教材です。</p> <p>【2023年作品】</p>	
S-827	<p>道徳・人権啓発映像教材</p> <p><b>障害のある人の気持ち 私たちの一歩</b></p> <p>【東映】</p>	18分	<p>合理的配慮とは、障害のある人が障害のない人と同じように生活できるよう、それぞれの障害特性や困りごとに合わせて行われる配慮のことをいいます。</p> <p>本作品では、実際に車いすを体験した二人の中学生のレポートと、パラアスリートのインタビューを通し、障害のある人がどのような手助けを必要としているのか、私たちに何ができるのかを考えていきます。</p> <p>【2023年作品】</p>	
S-828	<p>人権啓発推進 映像教材</p> <p><b>人権のすすめⅡ</b></p> <p>【東映】</p>	24分	<p>本作品は、職場における様々な困りごとや課題をテーマに取り上げ、それぞれ独立したミニドラマでの「気づき」を通して、多角的に人権問題やコミュニケーションの課題を学んでいく映像教材です。</p> <p>①テレワーク時代のコミュニケーション編 ②アンコンシャス・バイアス&amp;マイクロアグレッション編 ③心理的安全性編 と3部構成になっています。</p> <p>【2023年作品】</p>	
S-829	<p>部落の心を伝えたいシリーズ 番外編</p> <p><b>私と部落とハンセン病</b></p> <p>-林力 99歳の遺言-</p> <p>【フルーク映像】</p>	26分	<p>九州で初めて同和教育を始めた林力さん 99歳、そのきっかけは父のハンセン病でした。昭和12年、父は国立ハンセン病療養所鹿兒島星塚敬愛園に隔離されました。差別が厳しかった時代、林さんの父の「隠して生きろ」の言葉に忠実に生きています。教員となった林さんは被差別部落の子たちと接する中で「水平社宣言」に出会います…。</p> <p>【2023年作品】</p>	

管理番号	題名・企画	時間	内容	
S-830	ドキュメンタリー <b>Ainu ひと</b> -アイヌ文化伝承の 今を伝える- 【フルーク映像】	61分	日本の先住民族・アイヌ。かつて、アイヌモシリ（アイヌの大地）と呼ばれた北海道の日高地方・平取町には、今も多くのアイヌ民族が暮らしています。昭和初期に生まれ、時代の過渡期を生きた4人の古老。文化伝承のために、地域のリーダー的存在として、積極的に活動しています。昭和から平成のアイヌの変容を示す生き証人でもある「ひと」の姿を描いたドキュメンタリーです。 【2018年作品】	
S-831	<b>障がい者と共に働く</b> ~合理的配慮と 共生社会~ 【アスパクリエイト】	34分	「合理的配慮とは？」で始まり、身体障害、知的障害、精神障害、発達障害などの特性と合理的配慮にどのようなものがあるかを考えていきます。 事例ドラマでは、ともに働くASDのメンバーへの合理的配慮から、チームに変化が生まれ、さらには生産性が高まるなど、共生社会のあり方が描かれています。 【2023年作品】	
S-832	LGBTシリーズ <b>ゲイ夫夫の 結婚相談所</b> 田辺義宗 新井智尊 【フルーク映像】	27分	ずっとゲイを隠し続けてきた二人は、2020年にお見合いし、すぐに意気投合、今では一緒に暮らし共に活動します。2021年、神戸に、ゲイに特化した当事者による日本初の結婚相談所を開設しました。学校・行政・企業などでの講演、兵庫県で初めてのLGBTのフェスティバル・神戸レインボーフェスタの開催など、様々な活動を精力的に展開しています。 【2023年作品】	
S-833	アニメ <b>多様性の芽を はぐくむ</b> ① 人種・国籍 【東映】	13分	この巻は、自分自身の中にも人種、国籍の違いから起こってしまう可能性がある無意識の思い込みや偏見、差別的な感情があるかもしれないといった思考に気づくことと、お互いを尊重できる感性をはぐくむことをねらいとしています。 【2024年作品】	
S-834	アニメ <b>多様性の芽を はぐくむ</b> ② LGBTQ+ 【東映】	12分	この巻では、どの性を好きになるのか、どの性で生きていきたいと思うのかといった性的指向や性自認は多様であり、他者の存在を否定することなく誰もが生きやすい社会が望まれること、自分は自分であっていい、といったメッセージを伝えます。 【2024年作品】	
S-835	アニメ <b>多様性の芽を はぐくむ</b> ③ 障害 【東映】	16分	この巻では、障害があるゆえに生きづらさや不便さを感じることはあるが、障害も一つの個性であることや、どちらかが助けどちらが助けられる存在という認識をもたないよう、お互いに対等な関係性を構築していくのが当たり前であるということを感じてもらえるような構成となっています。 【2024年作品】	